

たたかう労働組合・回転寿司ユニオンに総結集して、労使関係正常化闘争を完遂しよう！

労使関係の正常化をめざして

編集・発行：回転寿司ユニオン

6

2025/11/29

はま寿司の企業内組合に続き「ZEAN」もホームページを公開 「労使協力して理念実現をめざす先駆的な労働組合」などと自画自賛

11月5日付の「めざして」3号で、はま寿司の企業内組合が、回転寿司ユニオンはま寿司本部の動きに比例するかのような時期に、さぞかし立派なホームページを作成したことに触れたが、このほど、すき家などの従業員を組織する「ゼンショー従業員組合会」（「ZEAN」）のホームページも公開された。ZEANといえば、過去にはUAゼンセンの会長（当時）にすら「うわべだけの労働組合」と痛烈批判されたことでおなじみの「労働組合」である。

はま寿司の企業内組合のホームページは、従前からホームページが存在していた上部組織である「ゼンショ一労連」と同じフォーマットを利用しており、急ごしらえのように見受けられたが、「ZEAN」のホームページは独自のフォーマットのようにみえる。裏を返せば、はま寿司の企業内組合のホームページがどれだけ急いで公開されたかということがわかるのである。

さて、「ZEAN」のホームページを見てみると、さっそくトップページには「組合員数6万人以上、組織率99%以上というフード業屈指の規模」などの自画自賛が目立つ。いったい6万人のうちの何人がこの「労働組合」に入りたくて入り、そして自身のためになっていると考えているかはわからないが。さらには、「労使協力して理念実現をめざす先駆的な労働組合」なる宣言ももちろん忘れない。言ってしまうと悪いが、「労使協力して理念実現」などということを誇る前に、労働組合としてもっと大事なことは山のように存在するから、これまでの多くの労働組合はそんなものをいちいち掲げてこなかったのだ。それを恥ずかしげもなくトップページにでかでかと掲げて、あろうことか「先駆的」などと悦に入るのは、はなはだ滑稽というほかない。

「ゼンショ一労連」、組合員向け電子図書館に掲載していた議案書一切を掲載停止

「ゼンショ一労連」が、組合員向けに運営している電子図書館にこのかん掲載していた「ゼンショ一労連」や「ZEAN」などの定期大会や中央委員会などの議案書一切を、突如掲載停止とした。中には今年の大会などの議案書も掲載されていたが、これらも含まれる。

回転寿司ユニオンでは、「はま寿司従業員組合会」や「ゼンショ一労連」などの実態を解明し、労使関係正常化闘争を完遂するため、これらにアクセスできる企業内組合員の協力を得ながら、これらの収集に努めていた。過去に公開されていたぶんはすべて保全をしているため影響はないが、今後の実態解明に影響が生ずることが予想される。

このタイミングで突如掲載を停止した意図は不明であるが、私たちの労使関係正常化闘争のホームページでは、これら議案書などをもとに、「ゼンショ一労連」の大会において、本坊「ゼンショ一労連」会長の挨拶が5分とか10分であるるに対して、小川賢太郎ゼンショ一会長の「来賓あいさつ」が30分にも及ぶことを指摘し、労働組合の大原則である「資本（企業）からの独立」がゆるがせになっていることなどを指摘していた。また、会社との団体交渉においても、はま寿司社籍のない回転寿司ユニオンの役員の事業場への立入りを拒み、「はま寿司従業員組合会」との関係でも、はま寿司社籍を有する者以外は入れていないとする会社側に、「ゼンショ一労連」の大会議案書には新たにゼンショーグループ入りしたロッテリアでの組合建設のために、「ゼンショ一労連」加盟各单組の役員・組合員等を動員している旨の記述があることなどを根拠に、「はま寿司でも、はま寿司社籍のない『ゼンショ一労連』役員の立入りを認めているのではないか」と追及したことがあった。

こういうことをきらって、回転寿司ユニオン対策として掲載を停止したということはまさかあるまいとは思うが、「企業内組合として…の強み」なるものが存分に発揮された大会や中央委員会になったのであれば、自分のところの組合員に対してくらいは、オープンになることを願う。